

自己点検・評価報告書

Usec International School

自己点検・評価実施日：令和7年(2025年)3月31日
実施責任者：校長 榎本 安吾
実施担当者：榎本 安吾(校長)、下駄 真奈美(主任教員)

評価方法

- A 「達成されてる」または「適合している」。
B 「一部未達成」あるいは「一部適合していない」が、「達成」「適合」に向け取り組んでいる。
C 未達成または適合していない。

1 理念・教育目標

「教育の理念」

外国人に対する日本語教育を行い、日本の大学等へ進学させることで優秀な人材を育成し、世界の発展に寄与する。

A

「教育の目標」

日本の大学等への入学を目指す留学生を対象として、日本国内で社会生活をするうえで必要な能力と大学等における学習研究の基礎として必要な日本語を身につけさせる。

A

また、日本の風俗・習慣・文化などの教養を広く養い、国際社会に寄与できるとともに、日本の社会の発展にも寄与する人材を育成する。

A

2 学校運営

- (1) 日本語教育機関の告示基準に適合している。
- (2) 理念・教育目標が明確化され、教職員に周知されている。
- (3) 本校の規則が明確化され、教職員に周知されて、規則に基づいた運営がされている。
- (4) 学生の規則が明確化され、学生・教職員に周知され、守られている。
- (5) 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。
- (6) 財務状況は、中長期的に安定している。
- (7) 外部からの情報収集が効果的に行われ、かつ、共有化されている。
- (8) 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、わかりやすい情報提供を行っている。
- (9) 授業や運営に関する相談、苦情の担当者が特定され、適切に対処している。

A

A

A

A

A

A

A

A

A

3 教育活動

- (1) 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。
- (2) 教育目標達成に向けたカリキュラムを編成している。
- (3) 教育目標に合致した教材を選定している。
- (4) 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。
- (5) 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。
- (6) 授業記録及び出席簿を備え、正確に記録している。
- (7) 成績の判定基準判定方法が明確に定められ、適切に行われている。
- (8) 出席率及び成績判定結果を的確に学生に伝えている。

A

A

A

A

A

A

A

A

- | | |
|--|---|
| (9) 学生による授業評価を定期的実施している。 | B |
| (10) 授業評価が定期的実施され、その結果が教育内容や教員の資質向上に生かされている。 | A |
| (11) 教員及び職員の研修等により教育の質が向上している。 | A |
| (12) 入学から卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。 | A |
| (13) 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。 | A |
| (14) 卒業後の進路を把握している。 | A |

4 学生支援

- | | |
|--|---|
| (1) 担任と生活指導担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。 | A |
| (2) 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施している。 | A |
| (3) 住居支援を行っている。 | A |
| (4) アルバイトに関する指導を行っている。 | A |
| (5) 健康、衛生面について指導する体制を整えている。 | A |
| (6) 学生全員が国民健康保険に加入し、併せて、留学生保険に加入している。 | A |
| (7) 重篤な疾病や障害のあった場合の対応、及び感染症発生時の処置を定めている。 | A |
| (8) 危機管理や交通事故等の相談体制を整備している。 | A |
| (9) 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。 | B |
| (10) 気象警報発令時の処置を定め、教職員及び学生に周知している。 | B |
| (11) 進路指導担当者を決め、学生の希望する進路を把握している。 | A |
| (12) 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。 | A |
| (13) 入学時から一貫した進路指導を行っている。 | A |
| (14) 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。 | A |
| (15) 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。 | A |
| (16) 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っている。 | A |

5 教育環境

- | | |
|---|---|
| (1) 教室内は十分な照度があり、喚起がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。 | A |
| (2) 授業時間外に自習できる部屋を確保している。 | A |
| (3) 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。 | A |
| (4) 視聴覚機材やIT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。 | A |
| (5) 教職員の執務に必要なスペースを確保している。 | A |
| (6) 学生数に応じた数のトイレを設置している。 | A |
| (7) 廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。 | A |
| (8) 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。 | B |
| (9) 海外の募集代理人に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。 | A |

(10)	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
(11)	学生情報を正確に把握し、提出された資料等により確認を行っている。	A
(12)	入学検定料、入学金、授業料、その他の納付金の金額及び納付時期を明示している。	A
(13)	学費返還規程を定め、公開している。	A
(14)	入国管理局、関係官庁等への届け出、報告を遅滞なく行っている。	A
(15)	地域貢献、社会貢献を奨励している。	A